



おおみなみ

笑顔あふれる 大南

～自分もよく、相手もよく、みんなもよく～



令和6年度
練馬区立大泉南小学校
校長 田村 亜紀子
令和6年 10月31日
Tel 03-3922-1371

「音を楽しむ会」

校長 田村 亜紀子

何をするにもよい季節となりました。「スポーツの秋」「食欲の秋」そして「芸術の秋」。本校では「音楽の秋」です。

「音楽」は文字どおり「音を楽しむ」ものです。昔、「おかしなおかしな石器人」というイギリス映画がありました。主演はビートルズのドラマー リンゴ・スターです。古代世界の中で、石器人が火を手に入れたり、武器に加工したりする中で、少しずつ文明が生まれてくる様子をコミカルに描いた映画です。その中で、主人公は、ある時、一振りの棒を岩に振り下ろします。「ボン」と音が鳴ります。始めは、「ん？」という表情でしたが、何回か繰り返すうちに楽しくなり、笑顔でリズムを刻み始めます。そうすると、周りにいた仲間が集まってきて、だんだんとそのリズムに合わせて「音」を鳴らし始めます。初めはバラバラだった様々な「音」も、しだいに一つのまとまりになり、仲間たちみんな楽しんでいきます。その情景に「こうして音楽はビートルズへと続く」という粋なナレーションが入り、フェードアウトしていきます。

音楽は、「リズムとメロディーとハーモニー」と言われます。強烈なメッセージ(メロディー)も、それを支える和音(ハーモニー)と、全体をまとめるテンポ(リズム)が必要です。それをみんなで分かち合い、分担し合いながら、一つの曲が成り立っていくのです。

明日はいよいよ音楽会です。残暑厳しい9月から始まった2学期から、学年や曲によっては夏休み前から、こつこつと練習を重ねてきました。楽譜を渡されたばかりの頃は、自分のパートもままならなかった子供たちも、みんなでの練習やご家庭などでの個人の練習を重ね、自信をもって演奏できるようになってきました。その中で、同じパート同士で励まし合ったり教え合ったりしながら、「一人の音」を「何人かの音」にまとめてきました。それぞれのパートができてくると、全体でのバランスを考えるようになります。「ちょっと速かったかな?」「今のは気持ちよく重なった。」といったハーモニーを感じながら、少しずつ増えていく「音」を「心地よい響き」として奏でられるように気を付けていきました。全体がまとまる中で、改めて「みんなの中の自分の音」を意識し、演奏をしていきます。

「音楽会」とは、一人一人の「音」が集まったみんなの「音」を、みんなで楽しむ「会」です。みんなで演奏する楽しみや喜びを感じると共に、聴く側もいっしょに「音を楽しむ」のが「音楽会」です。演奏する人と観る人が一体となって、初めて音楽会の会場が作られるのです。明日は児童鑑賞日、明後日は保護者鑑賞日です。子供たちの奏でる音楽にひたりながら、秋のひとときを共に楽しんでいただきたいと思います。

この音楽会を通して、子供たちは様々な力を身に付けたと思います。「役割を果たす」「最後まで頑張りきる」「みんなを力合わせる」「互いを思い合う」「よさを認める」「励まし合う」…。まだまだあります。また、一人一人、違います。この経験を一過性のイベントとすることなく、ここで学んだことを自分なりに自覚し、今後の学校や日常生活にどのように生かしていくかが重要です。よく「行事で育つ」と言いますが、育った力を発揮する場は、やはりいつもの生活の中なのです。今後も、より充実した学校生活になるよう、指導を重ねてまいります。

11月は「ふれあい(いじめ防止強化)月間」です。

東京都では、毎年6月・11月・2月を「ふれあい(いじめ防止強化)月間」とし、子供たちが元気に学校に通学できるための様々な取組を行います。本校でも、アンケートを行ったり、学級などで話をしたりする中で、改めて本校の合い言葉「笑顔あふれる大南 ～自分もよく 相手もよく みんなもよく～」を、みんなで考えていきます。

11月の生活目標 元気よく運動しよう 言葉づかいに気をつけよう